

市政に対する

一般質問



各質問議員の
QRコードからは、
それぞれの一般質問の
動画をご覧いただけます。



添野 郁 議員

- 都市ブランド戦略の推進について
- 公共施設の効率的な管理について
- 教育行政について
- 都市計画について



一般質問はこちら

通学路の安全確保について

質問

市内のほとんどの小学校では、登校時に児童が集中する正門付近の道路に歩道が設置されていますが、未整備の学校もあります。統合が進み児童数も増え、通学環境が大きく変わっている状況もあります。歩道が設置されていない小学校の正門付近について、安全確保のため歩道を整備する考えについて伺います。

答弁

市内の小学校14校中11校で、正門前の国県道・市道に歩道が整備されています。歩道の整備は沿線地権者全員の同意のもとに、地元自治会から道路整備の要望書を提出していただく必要があることから、市では、地域や学校の合意形成を図る過程において、道路整備の基本的な考え方や進め方などを地域に対して、説明してまいります。



市井 元 議員

- 公共施設の有効活用について
- 公共交通の今後について
- 若者連携について
- ごみ袋の安定供給と価格維持について



一般質問はこちら

自動運転バスの実証実験に関する 情報収集や検討について

質問

全国各地で一定の条件下で運転手なしで自動運転ができる「レベル4」の自動運転バスの導入が進められています。県内でも実証実験が実施され、下野市において、レベル4の許認可の取得に向けて協議が進められています。栃木県でも自動運転バスが走る未来がすぐそこにあるということですが、本市において、情報収集や検討がこれまでどのように行われているのか、進捗状況を伺います。

答弁

令和2年度に県が実施した、自動運転バスチャレンジプロジェクトに参加の意向を示しましたが、候補地に選定されませんでした。県内他市町の実証運行や、県外の本格運行、群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター視察など情報収集を続けています。また、補助制度や事例の研究、関東運輸局の勉強会に参加するなど、動向把握に努め、交通事業者とヒアリングを行うなど、実現可能性の調査を実施しています。



七海 朱美 議員

- 有機農業の推進について
- 緊急通報システムについて
- 小・中学校における外国籍児童生徒に対する日本語指導について



一般質問はこちら

有機農業の推進について

質問

本市では、環境負荷低減に向けた取組を進めるため、令和8年3月に、国や県などの関係機関をはじめ、生産・流通・消費の各分野で構成されたメンバーによる「真岡市グリーン農業推進会議」が開催されましたが、その目的や内容、そして会議の結果を受けて、今年度は、具体的にどのような取組を進めていくのか伺います。

答弁

市民の理解促進と意識醸成を図り、生産者・流通者・消費者が情報共有し、持続可能な農業生産の推進が目的です。国・県などの取組紹介や、有機農業の現状報告、意見交換を行い、生産者からは設備支援の要望などがありました。今年度は、設備導入への支援、地球温暖化防止等の取組への支援を行い、「みどり認定」の周知と、有機農業セミナーやスマート農業研修会を通じ、理解促進と意識醸成に努めます。

※「みどり認定」・・・
みどりの食料システム法に基づき、化学肥料・農薬の使用低減などに取り組む農業者を認定するもの



中野 達生 議員

- いちご生産日本一もおか 今後のブランド展開について
- スクールバスの活用について
- 真岡市公式アプリバージョンアップについて
- 倒壊等の恐れがある家屋問題について



一般質問はこちら

いちご生産日本一もおか 今後のブランド展開について

質問

「いちご生産日本一」を誇る真岡市ですが、産地間競争が激化する中においては、生産量だけでなく地域ブランド強化が重要になります。そのために、生産だけでなく、加工・販売・観光までを一体化した6次産業化の推進と、真岡の「いちご」や「農産物」のブランド力強化をどのように図っていくのか考えを伺います。

答弁

令和7年度から「農畜産物販路拡大等支援補助金」制度を創設し、農業者が行う6次産業化の取組や、販路開拓、販売促進を支援しています。今後は、本制度を活用した加工品を、市ホームページや観光イベントなどで積極的に発信し、真岡の魅力を広く周知する取組を強化し、全国的な展示商談会などに出店して販路拡大を支援します。これらにより、6次産業化に取り組む農業者の支援と裾野の拡大を図ります。



久保田 武 議員

- 人口減少問題・少子化対策について
- プレコンセプションケアの推進について
- 公共空間の利活用について
- 中心市街地リノベーション事業について
- 真岡市の桜の維持管理について
- 教育行政について



一般質問はこちら

スクールバスの運行区域について

質問

スクールバスを運行している小学校では、1時間近く歩いて通学する児童がいる一方で、当該児童より近距離の児童がスクールバスで通学している例があります。小学校統廃合後の運行開始から、二宮地区は18年、中村・山前地区は8年が経過しており、スクールバス運行区域の見直しが必要だと思いますが、考えを伺います。

答弁

現在のスクールバスは、廃校した小学校区の通学手段として運行しています。そのため、地域的な不均衡が生じていることから、国の指針をもとに運行基準の策定に取り組んでいます。運行区域は、通学距離だけでなく、交通の状況、通学班編成などを考慮して設定し、運行基準や内容の周知を図り、現在の業務委託契約が更新となる、令和10年度を目途に、見直しの準備を進めます。



須田 正彦 議員

- スマートインターチェンジについて
- 高齢者運転免許証自主返納支援事業について
- 基金管理及び運用について



一般質問はこちら

スマートインターチェンジの候補地 選定スケジュールについて

質問

現在、栃木県内の他市でもスマートインターチェンジの設置事業が行われており、真岡市においても令和6年度から今年度まで調査研究業務が実施されております。この調査研究業務は今年度が最終年であり、今後、関係機関と協議を進めていくことになると思いますが、候補地選定までのスケジュールを伺います。

答弁

スマートインターチェンジを整備するには、国やネクスコ東日本が候補地において必要性を認め、国に採択をしてもらう必要があります。よって、今年度までの検証結果を十分踏まえながら、令和9年度中に複数箇所の候補地から、国と協議を進める箇所を選定したいと考えております。



飯塚 正 議員

- エアコン設置補助について
- 公共施設のトイレの管理について
- 修学旅行費の「無償化」について
- 物価高から暮らしと営業を守る支援について
- 特定外来生物捕獲における農業者の負担軽減について
- 公園の樹木の管理について



一般質問はこちら

修学旅行費の「無償化」について

質問

東京都葛飾区では、物価高などの影響による経済支援の一環として、修学旅行費をはじめ、小中学校で行われる全ての宿泊行事において、独自財源による無償化を実施しています。

本市においても子育て支援と教員の業務負担軽減から、修学旅行費を無償化とする考えがあるか伺います。

答弁

経済的支援策の一環として、支援が必要な生活困窮世帯等の児童生徒には、就学援助制度により、修学旅行費に係る費用のほとんどを支援していることから、全ての児童生徒を対象とした修学旅行費の無償化を行う考えはありません。



小川 美穂 議員

- 不登校支援について
- 特別支援教育について
- ごみ出し支援について
- もおかぐらし商品券について



一般質問はこちら

高齢者等のごみ出し困難世帯への支援について

質問

ごみステーションの管理や地域の環境美化は、地域の皆さまによって支えられています。一方で、独り暮らしの高齢者や、高齢者のみの世帯の中には、ごみステーションまでごみを運ぶことが困難な方がいらっしゃいます。このような世帯への支援について、どのような事業があるのか、また相談窓口とその周知方法について伺います。

答弁

地域の高齢者を地域で支える「生活支援体制整備事業」の中で、見守りと併せてごみ出し支援を実施している自治会や、「地域共助活動推進事業」を活用して支援している自治会もあります。どちらも相談窓口は自治会ですが、高齢者のお困りごとにつきましては、地域の民生委員など関係者が連携して対応しております。周知については、自治会において広報が行われています。



大隈 広郷 議員

- 地域公共交通計画について
- 行政評価について



一般質問はこちら

地域公共交通について

質問

本市の地域公共交通は、いちごバス、いちごタクシー、もおかベリー号を運行し、市民生活を支えています。その一方で、市民アンケートにおいて、公共交通を利用したことのない市民が約8割との結果も出ています。そこで、公共交通を利用したことのない市民に対する利用促進のための取組みとその成果について伺います。

答弁

夏休みを利用した小学生対象の無料乗車キャンペーンや、小中学校でのバスの乗り方教室、高齢者等を対象とした利用方法や乗り継ぎについての地域説明会を実施しています。

これらの取組の結果、令和7年度のいちごタクシーの利用者は、前年度比556人の増、いちごバスの利用者は7,558人の増、もおかベリー号の利用者は185人の増でありました。